

## 参考資料

林徳栄（LH土地住宅研究院住居福祉研究室・責任研究員・住居福祉研究室）  
発表ができず、この資料を配布資料として作成いたしました。

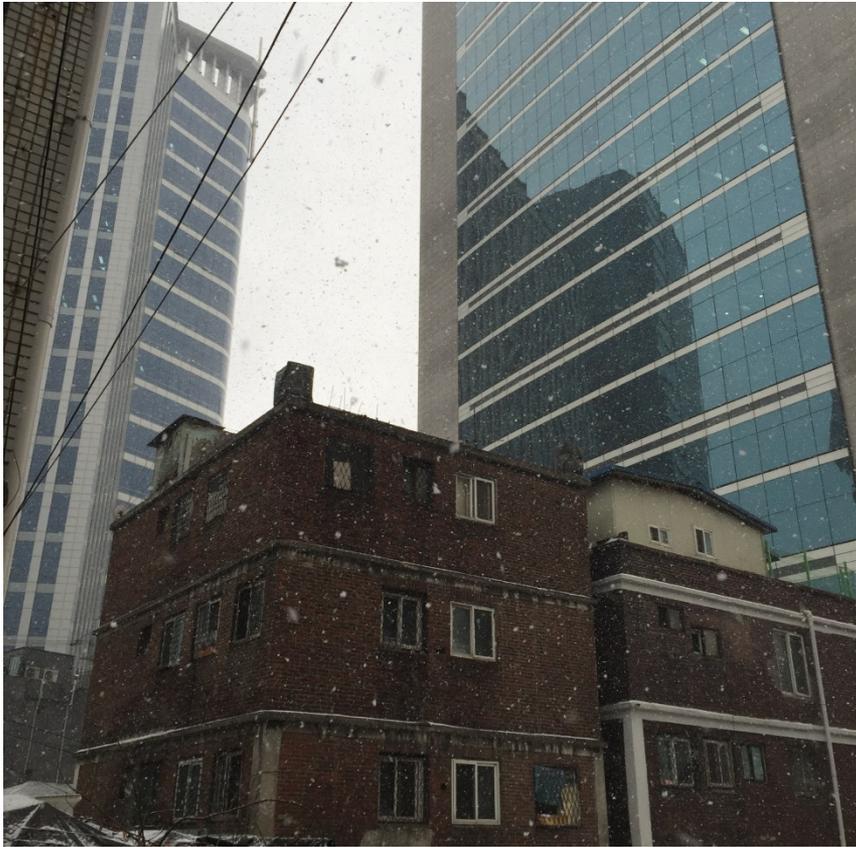
# 図1. 「ソウル駅7017プロジェクト」の計画図

矢印のところがチョッパン地域



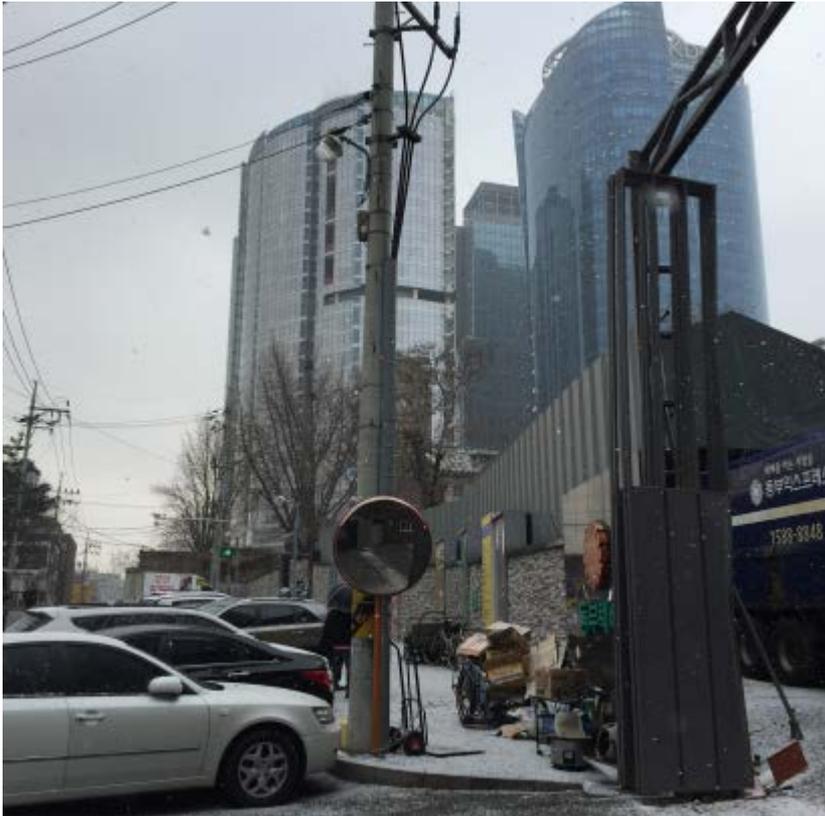
「ソウル駅7017プロジェクト」ホームページから( [www.ss7017.org](http://www.ss7017.org) )

図2. ソウル駅周辺の様子①: 高いビルとチョッパンの(一時的)共存



ソウル駅周辺のチョッパンとビル

図3. ソウル駅周辺の様子②:開発の現場



ソウル駅周辺の工事現場(左)  
工事の詳細が書かれた立て看板(右)

図4. ソウル駅周辺の様子③:新しくできたゲストハウス・宿泊施設



以前、日雇い労働者が泊まったりもした古い旅館が改築されホテルになっていた。左のホテルの隣ビルにチョツパン相談所がある。前の車はチョツパン相談所の車。

図5. ソウル駅周辺の様子④:チョツパンの閉鎖



住民の退去が終わっているチョツパン。建物の入口が閉鎖された。

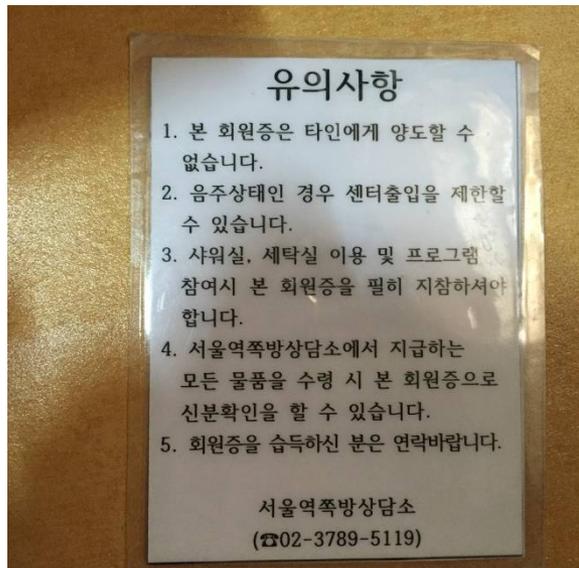
## 図6. ソウル駅周辺の様子⑤

: 反対運動とソウル市の支援で撤去されなかったチョツパン



家主がゲストハウスに改築しようとしたが、住民らの反対運動を展開した。ソウル市が5年間、建物を借り住民が家賃をソウル市に払うことになった。黄色のビルがそれ。

図7. ソウル駅周辺の様子⑥:チョッパン内部



・ソウル市は、火事予防設備の設置や改修などを行った。↙ ↑ ↗

・チョッパン住民カード。このカードを持たないとチョッパン相談所のサービスがもらえない←

・トイレはきれいになったが、西洋式ではない→



図8. 永登浦駅開発計画図



赤いところが都市環境整備事業の対象地。青いところがチョッパン村  
永登浦区都市計画課, 2015年4月25日発表、『永登浦洞4街都市環境整備区域の  
指定および整備計画(案)』3ページから

図9. 永登浦駅周辺①:様々なプラカード



- ・都市計画の決定を祝しているプラカード  
↑
- ・開発推進委員会のプラカード↗
- ・ホームレス施設の建立反対プラカード→



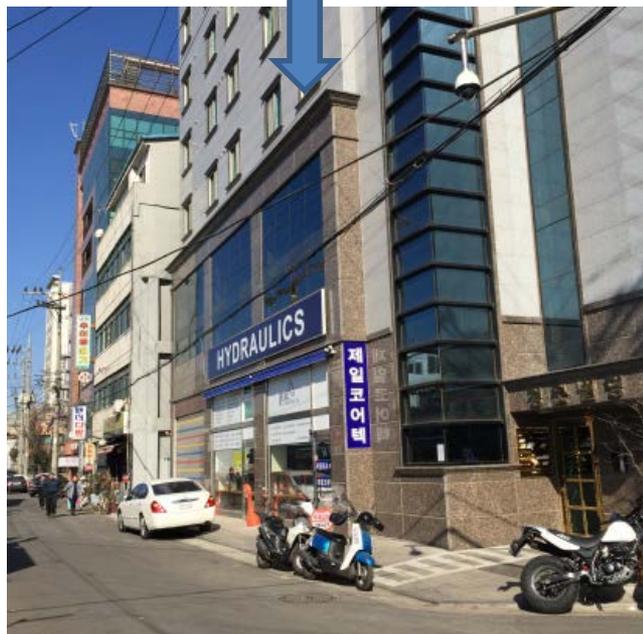
図10. 永登浦駅周辺の様子②: 工事が多い



チヨツパン周辺の建築現場。あちらこちらにクレーンを使っている工事現場がある。



図11. 永登浦駅周辺の様子③:新しいオフィスビル



以前、下宿看板を掛けてホームレス向けの安い宿泊所を運営していた建物は、建て替えられ、痕跡もなくなった。(左)  
ドロップインセンターの建物。看板がない。矢印のビル2、3階を使用している。

図12. 永登浦駅周辺の様子④: 複雑な都市構成の整備



- ・高層ビルと「性売買」密集地 ↑
- ・町工場とその隣のドロップインセンター ↗
- ・伝統市場 →

図13. 永登浦駅周辺の様子⑤:複雑な都市構成の整備



- ・高層ビル＋ショッピングモール＋チョツパン＋町工場＋福祉施設＋伝統市場・・・
- 都市整備でどう変化するか。

図14. 南九老駅周辺の様子: 韓国の寄せ場?



- ・午前5時撮影。少なくとも500人程度が交差点の人道に集まっていた。主に朝鮮系中国人と中国人。韓国人は少ない。←
- ・この周辺には「人材事務所」が密集しており、ほとんど事務室であっせんが行われている。交差点にいる人々は、事務室からの連絡を待っている人々か、身分証の問題がある人々と見える。
- ・賃金は1日7万ウォン程度で、手元には5、6万ウォン。
- ・この近くの住宅様子。これらはチョッパンとして認められていない。↘



- ・バスで炊き出しが行われていた。パンと牛乳。暖かいお茶を提供するところもあった。←

